

岩手県高等学校体育連盟ソフトテニス専門部運営要項

岩手県高等学校体育連盟ソフトテニス専門部

1. 各大会出場数・出場資格

(1) 高校総体（団体、個人ダブルス）

- ① 団体戦はフルエントリーとする。
- ② 個人戦は前年度の登録数をもとに各地区に出場数を案分する。（別紙割当表）
- ③ 個人戦は前年度の新人大会ベスト4の選手同士のペアは推薦出場とする。

(2) 新人大会（団体、個人ダブルス）

- ① 団体戦はフルエントリーとする。
- ② 個人戦は前年度の登録数をもとに各地区に出場数を案分する。（別紙割当表）
- ③ ペアの2人共に県高総体個人戦ベスト8以上に進出、もしくは東北総体代表候補選手(7名)を含むペアを推薦出場とする。

(3) 選抜インドア大会（団体、個人ダブルス）

- ① 団体戦は新人大会団体ベスト16進出校が出場できる。
- ② 個人戦は新人大会個人ベスト32進出ペアが出場できる。

(4) ジュニア選抜大会（ダブルス、シングルス）

- ① ダブルスは新人大会個人戦出場ペア数分の出場枠を各校に与える。
- ② シングルスは前年度アンダー選考大会上位8名を推薦出場とする。また、新人大会個人戦出場ペア数分の出場枠を各校に与える。

(5) 東北総体選考大会

（ダブルス）

- ① 高校総体個人戦（ダブルス）ベスト16の選手
- ② ジュニア選抜大会（ダブルス）ベスト8の選手
- ③ 県連盟の出場推薦を受けた中学3年生

※①、②の出場資格を得たペアの1名が辞退する場合は、該当校で選手1名を補充できる。

（シングルス）

- ① ジュニア選抜大会（シングルス）ベスト16の選手
- ② 高校総体個人戦（ダブルス）ベスト8の選手
- ③ 県連盟の出場推薦を受けた中学3年生

(6) アンダー17・20選手選考大会（シングルス）

- ① 新人大会個人ベスト16の選手が出場できる。

2. 地区予選

(1) 団体

- ① 高校総体・新人大会における団体戦の地区予選は実施しない。
- ② 新人大会では組み合わせ作成のために団体地区1位校（高校総体ベスト8を除く）を決めること。なお、地区1位校が8校に満たない場合は大会エントリー数の多い地区から順に枠を割り当てる。その場合は2校を同等に地区1位として扱う。また、決定の仕方は各地区に一任する。

(2) 個人

- ① 高校総体・新人大会で個人戦の地区予選を実施する。
- ② 地区予選の試合方法は各地区に一任する。

3. 組み合わせ方法について

(1) 高校総体（団体）

- ① 新人大会、選抜インドア大会の合計ポイント（※1）に応じて前回対戦や地区を考慮せずに第1～16シードまでを決める。合計ポイントが同じ場合は前回大会の上位チームをシード上位とし、それでも決まらない場合は抽選とする。第1～16シードが全て埋まらない場合は、残ったシード枠は②の抽選に含める。
- ② 第16シード以降はフリー抽選とする。

(2) 新人大会（団体）

- ① 高校総体のベスト8、各地区1位校をシードする。
- ② 高校総体1位を第1シード、同2位を第2シードとする。
- ③ 第3シード、第4シードは該当校（高校総体3位）によるフリー抽選とする。ただし、東北大会代表決定戦を行った場合は代表校を第3シードとする。
- ④ 第5シード～第8シードは該当校（高校総体ベスト8）によるフリー抽選とする。
- ⑤ 第9シード～第16シードは各地区1位校によるフリー抽選とする。
- ⑥ 第16シード以降についてはフリー抽選とする。

(3) 選抜インドア大会（団体）

- ① 新人大会のベスト8をシードする。
- ② 新人大会1位～4位を第1～第4シードとする。
- ③ 第5～8シードについては前回対戦を考慮し、同一地区は考慮しないで決定する。
- ④ 第9～16シードについても③と同様に決定する。

(4) 個人戦（ダブルス、シングルス）

- ① 大会実績ポイント（※2）、地区予選の結果をもとに学校バランス、地区バランスなどを考慮して適切に作成する。
- ② 作成手順の詳細については組み合わせ作成時に確認する。

※1 各大会における順位ポイント【団体】

県新人大会	1位50点、2位40点、3位30点、4位20点、5位（ベスト8）5点
県インドア大会	1位50点、2位40点、3位30点、4位20点、5位（ベスト8）5点
東北インドア大会	1位50点、2位40点、3位30点、4位20点、5位（全国）10点
全国大会	1位100点、2位80点、3位60点、5位40点（インハイ・全国選抜）

※2 各大会における順位ポイント【ダブルス・シングルス】

県大会	1位10点、2位8点、3位6点、4位5点、5位（ベスト8）3点、16本（参考）
東北大会	1位20点、2位16点、3位12点、5位（ベスト8）6点 選手権・インドア
全国大会	1位100点、2位80点、3位60点、5位（ベスト8）40点 HJC・インハイ

4. 監督・ベンチ入り指導者について

(1) 監督

- ① 団体戦に参加する学校は男女別に異なる各1名の監督を定めること。ただし、顧問が1名のために男女別に監督を定めることができない場合は、申込時に専門委員長へ連絡して別途審議の対象とする。
- ② 監督は校長の認めた指導者（顧問・外部指導者）とし、外部指導者の場合は所定様式を用いて専門部長あてに届け出ること。
- ③ 監督の変更については、団体戦1日目の指定時間内に提出している団体戦申込書を書き直すことで変更できる。（原則として1日目と2日目で監督を変えることはできない）

(2) ベンチ入り指導者

- ① 校長の認めた指導者（顧問・外部指導者）とし、外部指導者の場合は所定様式を用いて専門部長あてに届け出ること。
- ② ベンチ入り指導者の変更については、大会当日の指定時間内に提出している申込書を書き直すことで変更できる。
- ③ ベンチ入り指導者は、男女両方のベンチに入ることができる。（顧問・外部指導者共通）
- ④ ベンチ入りできる外部指導者は各校（男女別）3名までとする。
- ⑤ ベンチ入り指導者の数は、参加ペア数（ダブルス）、参加選手数（シングルス）を超えないこと。

5. 選手変更

(1) 団体戦

- ① 団体戦1日目の指定時間内に提出している団体戦申込書を書き直すことで選手変更できる。

(2) 個人戦（ダブルス）

- ① 出場する選手が病気やけが、その他理由により出場が困難であると校長が認めた場合は、選手変更願を提出することでペアのうちの1人の選手変更を認める。その場合は、事前に地区責任者を經由して専門委員長へ申し出ること。
- ② 突発的な事情により、大会当日に選手変更の必要が生じた場合は競技委員長へ申し出ることによって別途審議の対象とする。ただし、大会で定める受付時間が過ぎたものについては一切認めない。
- ③ 組み合わせ決定前に個人戦で棄権するペアが出た場合は、地区予選の次席ペアが出場できる。その選考は地区に一任する。

6. 2ペアでの団体戦出場について

(1) 試合方法

- ① 2ペアで出場のチームは、第1対戦・第2対戦に出場し、第3対戦は不戦敗とする。
- (2) 2ペアで出場するチーム同士が対戦して対戦成績が1－1になった場合、下記の①～③により勝敗を決定する。
 - ① 2ペア合計の得失ゲーム差（得G数－失G数）の大きいチーム
 - ② ①が同じ場合、2ペア合計の得失ポイント差（得P数－失P数）の大きいチーム
 - ③ ②が同じ場合は、勝者ペア同士で対戦して勝ったチーム

7. 合同チームについて

- (1) 県高体連で示している「複数校合同チームによる大会参加について（確認事項）」に則り対応する。
- (2) 団体戦について
 - ① 原則として部員数が4名未満のチームを合同チームの対象とする。
 - ② 合同チームを編成する場合は、原則として同地区とする。
 - ③ で相手チームが見つからない場合は、他地区も可とする。（合同練習の実施が必要なため、できるだけ近接地区が望ましい）
 - ④ 合同チームを編成する場合は、所定様式を用いて専門部長あてに届け出ること。
 - ⑤ 上記内容に当てはまらない特殊な場合は、専門委員長を通じて高体連専門部で協議して合同チーム編成の可否を判断する。
- (3) 個人戦について
 - ① 原則として個人戦での合同ペアは認めない。
 - ② 上記内容に当てはまらない特殊な場合（部員が1名のみなど）は、専門委員長を通じて高体連専門部で協議して合同ペア編成の可否を判断する。

8. 登録選手以外の出場について

- (1) 団体戦
 - ① 登録外の選手をオーダー用紙に記入して提出した場合は、オーダー受付しない。
 - ② マッチ開始後（インプレー）にオーダー通りに出場していないことが判明した時点で、そのチームを失格とする。
 - ③ 団体戦が終了した後にオーダー通りに出場していないことが判明した場合は、日本ソフトテニス連盟発行の最新版「ソフトテニスハンドブック」に準じて決定する。
- (2) 個人戦（ダブルス・シングルス）
 - ① 登録外の選手が出場した場合は、それが発見された時点で、そのペア（選手）を失格とする。

9. 他連盟主催大会への出場について

- (1) 東北春季大会（4校、選抜出場時は6校）
 - ① 次年度の高校総体のシード順位（ポイント順）によって選出する。
 - ② シード順位が同じ場合は選抜インドア大会の個人戦の結果により選出する。
 - (a) 個人戦での最高成績の上位校を代表とする。
 - (b) (a)が同じ場合は個人戦での最高成績のペア数の多い学校を代表とする。
 - (c) (b)が同じ場合は個人戦での2番目（3番目、4番目・・・）に高い成績、ペア数で比較する。
 - ③ ②でも決まらない場合は新人大会の個人戦の結果について上記(a)～(c)に従って選出する。
- (2) ハイスクールジャパンカップ（ダブルス1ペア、シングルス1名）
 - ① ジュニア選抜大会ダブルス優勝ペアをダブルス代表とする。
 - ② ジュニア選抜大会シングルス優勝選手をシングルス代表とする。
- (3) 東日本選手権大会（ダブルス2ペア、東北ブロック開催時4ペア）
 - ① ジュニア選抜大会（ダブルス）の決勝進出ペアを代表とする。

- ② 東北ブロック開催時の場合は、ジュニア選抜大会（ダブルス）のベスト4とする。
- (4) 東北選手権大会（中体連・高体連合計ダブルス4）
 - ① ジュニア選抜大会（ダブルス）の上位ペアから代表を強化委員会で選考する。
- ※原則として1位から順に選考するが、年度によって高体連から出場できるペア数が増える。
- (5) 東北シングルス大会（男子20名、女子制限無し）※男子は一般含む合計数
 - ① 県新人大会（個人戦）の上位選手などの中から強化委員会で選考する。
- (6) 全日本選手権大会岩手県予選会
 - ① 高校総体、東北総体代表選考大会をふまえて強化委員会で選考する。
- (7) 岩手県秋季選手権大会
 - ① 高校総体、東北総体代表選考大会をふまえて強化委員会で選考する。
- (8) 岩手県シングルス選手権大会
 - ① 前年のアンダー選考会ベスト16進出選手が出場できる。

10. 東北総体および国体における監督・コーチ・代表候補選手の推薦について

- (1) 監督・コーチ

高体連専門部として全県的な視野に立って県連盟に対しても責任を持ち、岩手県代表選手を率いる立場を考慮して選考し、高体連専門部として県連盟へ推薦し、県連盟が決定する。
- (2) 代表候補選手

代表選手選考会のダブルスの上位2ペア、シングルスにおいて優勝した選手は代表候補選手（7名）とする。その他の候補選手については、選手選考大会・各種大会・強化練習会などを参考にして強化委員会で選考し、高体連専門部として県連盟へ推薦し、県連盟が決定する。

1 1. 登料・参加料について

(1) 登録料

団体登録 全日制1校 20,000円(男女別) 地区責任者を通じて登録する。

個人登録 全日制1名 2,000円 県連盟からの指示により各校で登録する。

顧問 1名 2,500円 県連盟からの指示により各校で登録する。

定時制・通信制はなし

(2) 全国高体連ソフトテニス専門部運営負担金

生徒1名 100円 専門部で指示した方法によって納入する。

※平成31年度より専門部で一括して支払うため各校での徴収は必要ない。

(3) 参加料

大会名	種別	金額
高総体	団体1チーム	6,000円
高総体	個人1ペア	600円
新人大会	団体1チーム	6,000円
新人大会	個人1ペア	600円
選抜インドア大会	団体1チーム	12,000円
選抜インドア大会	個人1ペア	3,000円
ジュニア選抜大会	ダブルス1ペア	2,000円
ジュニア選抜大会	シングルス1名	1,000円
東北総体代表選手選考大会	ダブルス1ペア	2,000円
東北総体代表選手選考大会	シングルス1名	1,000円
アンダー選考大会	シングルス1名	1,000円

平成23年3月 一部改訂

平成24年2月 一部改訂

平成31年2月 一部改訂

令和2年 2月 一部改訂

令和3年 2月 一部改訂

令和5年 2月 一部改訂